副 産 物 情 勢

9月11日 更新　　Ｊ Ａ全農ミ ート フーズ株式会社

項 目		内 容
内臓	1.国産牛	○ 7月の成牛と畜頭数は、95.3千頭と前年並み(前年比101.3%)。 内訳を見ると、和牛:45.9千頭(前年比102.3%)、交雑牛:23.0千頭(同107.9%)、乳牛去勢:11.2千頭(同93.4%)となった。 ○ 8月の成牛と畜頭数は、速報値(8月31日まで集計)で84.3千頭と前年を下回った(前年比98.7%)。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(8月29日公表)によると、8月の出荷頭数は、乳用種は減少するが、和牛および交雑種での増加が見込まれることから、 前年同月を上回ると予測し、9月は、和牛が減少するものの、交雑種および乳用種の出荷頭数の増加が見込まれることから上回ると予測する。 (8月86.0千頭(前年比100.3%)、9月90.2千頭(同100.1%))。 ○ 需 給 動 向 ：輸入原料の需給一服感は見受けられるが、国産原料は先物買い需要等により焼き材を中心に堅調な荷動きをしている。 赤物は最需要期で価格上昇傾向、白物は例年以上の猛暑や残暑予想から玉確保の動きが消極的で、特にシマ腸は若干荷動きが悪いという声がある。
	2.国産豚	○ 7月の全国豚と畜頭数は、1,247千頭と前年並み(前年比99.7%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道104.8%、東北101.3%、関東99.9%、北陸甲信越98.6%、東海99.5%、近畿90.3%、中四国100.5%、九州・沖縄97.5% ○ 8月の全国と畜頭数は、1,294千頭(速報値8月31日まで集計、前年比98.0%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より2日少なく、1日当たりの平均と畜頭数は64,705頭(前年実績:62,926頭/日、前年差＋1,779頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;8月25日付け)によると、9月;1,328千頭(前年比98%)、10月;1,451千頭(同104%)、11月;1,480千頭(同100%)、 12月;1,485千頭(同102%)、令和6年1月;1,421千頭(同103%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約101%と前年並み。 ○ 需 給 動 向 ：国産原料主体の流通と言われている。様々な販売チャネルが豚内臓を求めている一方で、と畜頭数の伸び悩み等により供給量が需要量に追いついていない。 一部の部位で品不足が続いているため、輸入原料の買付け等が発生して需給が一変する可能性がある。
	3.輸入牛	○ 7月の輸入通関実績は、全体で38.7千ﾄﾝと前年を下回った(前年比74.4%、前月比88.6%)、内訳ではチルド;19.4千トン(前年比99.2%、前月比117.4%)、 フローズン;19.3千ﾄﾝ(前年比59.5%、前月比71.2%)となった。 輸入相手国別では、チルドは豪州が増加したが、その他の国は減少した。フローズンは、全ての国が減少した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドの輸入量は、国内需要の低迷や米国産の現地価格の高騰等により減少し、8月、9月ともに前年を下回ると見込んでいる。フローズンは、 国内の輸入品在庫量が多い事や円安の影響等により、8月、9月ともに前年を下回ると見込んでいる。3か月平均でも、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。 令和5年8月　　合計;37.9千ﾄﾝ(前年比70.8%)、チルド;17.3千ﾄﾝ(同88.5%)、フローズン;20.6千ﾄﾝ(同60.8%) 令和5年9月　　合計;39.5千ﾄﾝ(前年比76.1%)、チルド;16.8千ﾄﾝ(同98.9%)、フローズン;22.7千ﾄﾝ(同65.0%) ○ 輸入牛内臓実績(令和5年7月)：牛腸(冷凍)　　;1,104ﾄﾝ(前年比113.8%・前月比106.8%)　国別実績;米国754ﾄﾝ、メキシコ166ﾄﾝ、豪州119ﾄﾝ、カナダ64ﾄﾝ、パナマ1ﾄﾝ 牛レバー(冷凍);　64ﾄﾝ(前年比76.2%・前月比58.9%)　国別実績;豪州36ﾄﾝ、米国23ﾄﾝ、メキシコ5ﾄﾝ
原皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 7 月)：44,149枚(前年比102.7%、前月比87.7%) 国別実績;タイ28,434枚(前年比111.0%)、韓国4,475枚(同78.6%)、ベトナム4,270枚(同38.6%)、フィリピン3,970枚(同661.7%)、 カンボジア1,200枚(同なし)、香港1,200枚(同なし)、インド600枚(同なし) 輸出平均価格(令和5年7月)：2,353円/枚(前年差△592円、前月差△13円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 5 年 7 月)：ウェットブルー19,179枚※(前年比84.1%、前月比212.6%)、牛大判皮31,336枚(同78.0%、同143.0%)　※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和5年7月)：ウェットブルー9,930円/枚(前年差＋866円、前月差＋1,906円)、牛大判皮7,705円/枚(同△975円、同＋131円) ○ 海 外 情 勢 ：中国や欧州中心に革靴や革製家具の売行きが伸び悩んでいる。米国の一部畜種がわずかには値上がりしたが、全体的には厳しい展開が続いている。 ○ 国 内 情 勢 ：生活防衛意識の高まり等により皮革製品需要が伸び悩み、タンナー全体の生産量が低迷している。品質低級原皮の需要がほぼ無い。
	2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 7 月)：915,570枚(前年比79.9%、前月比82.5%) 国別実績;タイ661,070枚(前年比78.1%)、カンボジア140,900枚(同100.9%)、ベトナム75,100枚(同60.2%)、韓国38,500枚(同108.8%) 輸出平均価格(令和5年7月)：375円/枚(前年差△29円、前月差△27円) ○ 需 給 動 向 ：中国経済の低迷や製品革需要の伸び悩み等により海外タンナーが原皮の仕入を抑制している。 カンボジア、ベトナム向けの価格が大幅に下落しており、今後も厳しい展開が続くことが予想される。
レンダリング	1．油脂等	○ 国 産 食 用 加 工 油 脂 向 け 価 格 (8 月 渡 し)：牛脂155円/kg(前年差△40円、前月差±0円)、豚脂165円/kg(同△25円、同±0円) 牛脂は荷余り感が出ている。大手ファーストフードやカレールゥ等のユーザー需要が値上げの影響等により減退。更なる値下がりが予想される。 豚脂は引き締まり感が継続。加工食品メーカー向け生脂需要が堅調なほか、市中のラード需要も底堅く推移。 ○ マ レ ー シ ア 産 パ ー ム 油 相 場 (7 月)：153円/kg(前年差△7円、前月差＋4円) 7月生産量は161万トン(前月比111.2%)、輸出量は135万トン(同101.5%)、月末在庫は173万トン(同100.7%)となった。 輸出需要が伸び悩む一方で、堅調な大豆油相場や乾燥天候の懸念等、強弱材料が交錯しており底堅い展開をしている。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (8 月)：144円/kg(前年差△10円、前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (8 月)：115円/kg(前年差△10円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(8月)：143円～146円/kgあたり(前年差±0円、前月差±0円)

備　考

1.東京市場内臓価格　　単位:円/枝肉kg

価格改定年月日	牛内臓	豚内臓
令和3年4月 1日	35	7
令和3年4月 26日	25	5
令和3年10月 18日	35	7
令和4年2月7日	25	5
令和4年4月4日	35	7
令和4年8月8日	45	9

※乳牛も同様45円/kg　　＊豚正貫物

2.大阪市場内臓価格　　単位:円/枝肉kg

価格改定年月日	牛内臓	豚内臓
令和3年3月 11日	35	4
令和3年4月19日	25	3
令和3年10月 15日	35	4
令和4年2月1日	25	4
令和4年3月28日	35	4
令和4年8月1日	45	5

3.東京市場原皮価格　＊交雑牛含む　　単位:円/枚

価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮
平成31年1月5日	1,000	30
令和元年7月22日	700	10
令和2年3月16日	500	10
令和2年6月15日	100	10
令和2年7月20日	100	2
令和2年9月28日	10	2
令和3年5月24日	10	10

4.大阪市場原皮価格　＊交雑牛含む　　単位:円/枚

価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮
令和元年7月16日	1,000	30
令和元年8月15日	1,000	10
令和2年3月16日	800	10
令和2年6月22日	300	10
令和2年7月27日	300	2
令和2年9月28日	10	2
令和3年6月1日	10	10

5. 食用加工油脂価格　　単位:円/kg

価格改定年月日	牛脂	豚脂
令和4年1月1日	145	140
令和4年3月1日	155	150
令和4年4月1日	175	170
令和4年7月1日	195	190
令和5年1月1日	175	175
令和5年4月1日	165	175
令和5年7月1日	155	165